

パブリックコメントに寄せられた意見について

■実施期間:平成22年9月20日(月)~平成22年10月4日(月)

■提出者:5人(方法別内訳:公式HP専用フォーム1件、FAX2件、郵送2件) 意見:13件

NO	事項	寄せられた意見(要約)	市の考え
1	パブリックコメントについて	自由な意見を求めているが、何を答えれば良いのか、漠然としていて分からない。集めた多様なパブリックコメントを、市が部内だけで集約するのでは、これまでの手法と変わらず、集約の過程が市民には分からない。論点をいくつか整理して取り上げ、集約過程を数値的に示すとわかりやすい。	基本構想は今後20年間のまちづくりにおける全体構想であり、個別の論点については今後の基本計画策定作業において総合計画審議会等の中で議論を深めて参ります。 また、パブリックコメントの集約については、実施した所管課が取りまとめて、市役所内部で共有したうえで、いただいたご意見への対応を決定しています。
2	基本構想原案について(1) 将来都市像について	「みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩」という将来都市像には、市民協働を進める観点無く、四次総までの将来都市像と比較して違和感がある。将来都市像の書き方を変えるのであれば、市民協働の理念が達成されたかどうか評価する必要がある。	市民協働の観点は、「第1章 まちづくりの基本理念」の「1 市民主権による新しい地域社会の創造」の中で多様な担い手が対等な立場で協働・連携することを今後のまちづくりにおける基本的な考え方の一つとして定めています。また、将来都市像はこれまでの将来都市像を白紙に戻して考えているものではなく、第一次から第四次までの理念は継承しつつ、まちづくりをさらに前進させていくという考えです。
3	基本構想原案について(2) 具体性について	構想原案は具体性に欠ける。重点事業をピックアップし、どのように進めるか具体的に書くべきである。6つの目指すまちの姿はただの言葉にすぎず、具体的取組が見えない。	基本構想は今後20年間のまちづくりにおける将来ビジョンを表現したものです。個別の施策や施策の方向性、重点事業などは今後策定する基本計画でお示しする考えです。
4	基本構想原案について(3) 具体性について	地場産業振興や、大学連携、市民協働の推進、増加する定年退職者への対応などに対する具体案が示されていない。	
5	基本構想原案について(4) 人口フレームについて	原案には20年後の想定人口のみが示され、各年齢ごとの構成比や20年後までの経過は示されていない。産業動向、市民所得及び市財政の現状把握を含めて計画フレームを作成し、計画を立案するべきだ。	想定人口は20年後の時点における多摩市の人口を大枠で示したものです。世代別、性別の人口も算出しており、市民説明会等において簡単に説明しました。また、長期の財政フレーム等については、法律や制度改正等により現状と大幅に乖離が生じるため、算出が非常に困難であり、意味を持たないものになる可能性も多分にあります。 これらについては、構想を具現化するための基本計画において、フレームの作り方等を含めて検討します。
6	総合計画のボリュームについて	百数十ページに及ぶ計画は冗長すぎる。まとめて30ページもあれば充分。	基本構想はお示したとおり10ページ弱でまとめております。また、基本計画では個別の施策等についても必要があるものは掲載していきます。結果として100ページを超えるものになると思いますが、皆さんにお読みいただきたい部分と興味のある方にお読みいただく部分に分けるなどの工夫を検討します。また、総合計画の主要な内容が簡単にわかるものとして、概要版の作成を検討します。

NO	事項	寄せられた意見(要約)	市の考え
7	新市庁舎建設について	前市長の任期中に、新市庁舎の建設について審議し、候補地もいくつかにしぼっていたが、その後進展はあるのか。	現在、「多摩市役所庁舎の在り方懇談会」からの報告書を公開し、検討結果の周知を図っている段階です。今後は、市民の皆さんといっしょに議論をしながら、庁舎の在り方についての検討を進めていく考えです。
8	中央図書館	第四次総合計画で述べていた中央図書館の建設は、現在暫定的に学校跡地を利用しているが、本格的な建設を要望する。コミュニティセンター建設や地域図書館だけでなく、本格的な図書館は必須。	基本構想は今後20年間のまちづくりにおける将来ビジョンを表現したものです。個別の施策や施策の方向性、事業など具体的取組は今後策定する基本計画でお示しすることを考えています。今回いただいたご意見は、基本計画の策定や今後の事業運営の中で参考にさせていただきます。
9	日医大移転について	日医大病院が、現在の永山駅側から旧東永山小学校跡地に移転する話がある。市の施設でなくても、周辺住民への説明会を開催する等情報の公開を要望する。	
10	緑被率アップについて	前市長は緑被率の向上を語っていた。農地を含めて多摩市の強みである。緑被率が下がらないように努力して欲しい。	
11	多摩センター駅前「熱烈歓迎」の看板設置について	近年多摩市を訪れる中国語圏の観光客に対し、歓迎の意を表す看板等を、多摩センター駅前に設置するよう以前から要望しているが実現されない。	
12	防犯協会助成金について	現在防犯協会の助成金は、多摩・稲城両市から人口1人あたり18円を助成しています。助成額の多寡を含め、議会や委員会等で、議員を交えて検討するべきである。	
13	行政の防犯への取組について	多摩市安全まちづくり情報のメール発信は市民に対してどれくらいの認知度があるのか、わんわんパトロール等既存の組織のサポートを行政が行い、市民にとって安全安心なまちづくりを第一に考えることが大切だ。	